

国会議員の83%が消費税増税に反対

消費税増税に対する全国国会議員公開アンケート(集計中)

全国商工団体連合会は2011年12月6日、衆・参の全国国会議員に対して、消費税増税に対する公開アンケートを送りました。

「現時点では、増税するべきではない」「いかなる理由でも反対」と合計83%が「反対」の態度を表明しています。国民の声を代表する国会議員にわたしたちの思いを伝え、激励しましょう。

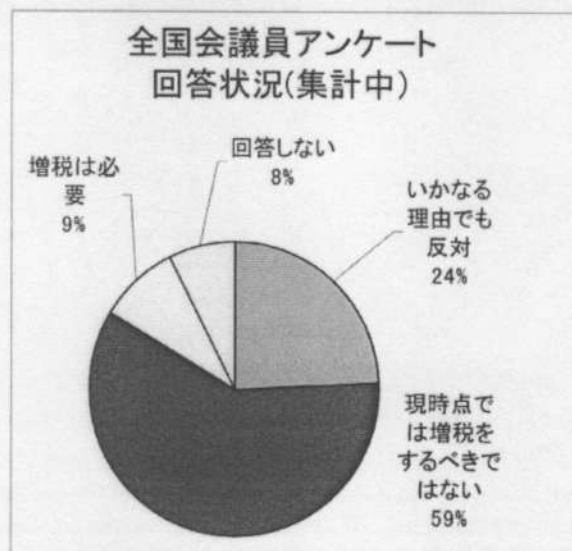
「現時点で増税すべきではない」と回答された方の理由は、①日本経済の回復を優先すべき、②まず無駄を削るべき、③2009年衆院選の公約に反するから、です。

<質問事項> ◇今般の消費税の増税について、

①いかなる理由でも反対②現時点では増税するべきではない③増税は必要であるから選択し、②、③に関しては理由を付記するもの。

<回答方法>

アンケートは記入式。回答は、文書、電子メール、FAXのいずれかによる。



回答が届いた国会議員の態度 (順次集計中)

*数字は2012年1月10日現在

☆民商では、引き続き消費税増税反対の請願署名を集めています。

☆「消費税増税ノー!」のあなたの怒りの声を署名にぶつけましょう。